

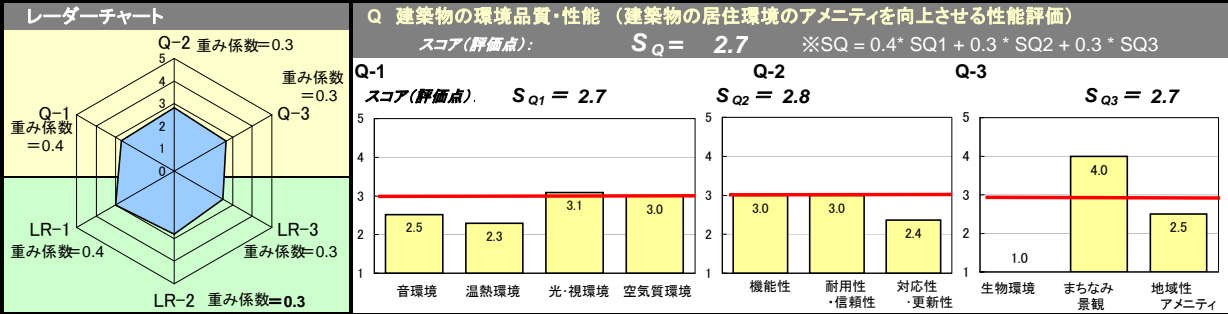
作成日 2007年7月30日 作成者 設計事務所 確認日 確認者

① 建物概要

建物名称	(仮称)河原町竹屋町大文字町マンション			外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建物用途	集合住宅			
建設地・気候区分	京都府京都市	地域区分Ⅳ		
地域・地区	商業地域、防火地域			
竣工年	2008年3月 竣工	階数	地上11F	
敷地面積	326 m ²	構造	RC造	
建築面積	258 m ²	平均居住人員	60 人	
延床面積	2,356 m ²	年間使用時間	8,760 時間/年	

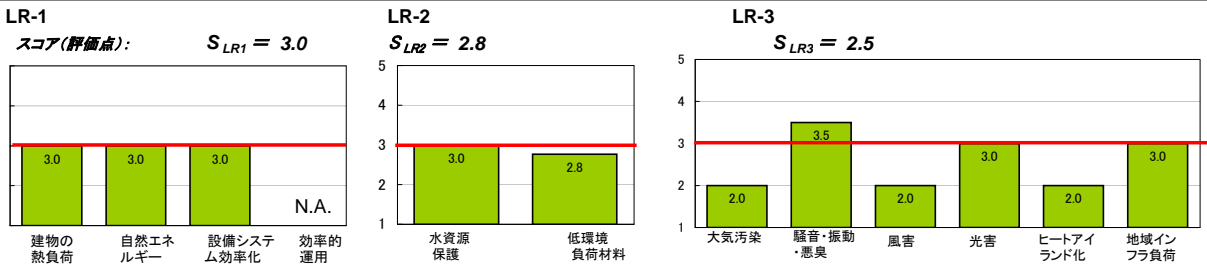
② 建築物の総合的な環境性能評価結果

②-1 建築物の環境品質・性能と環境負荷低減性(評価分野毎)



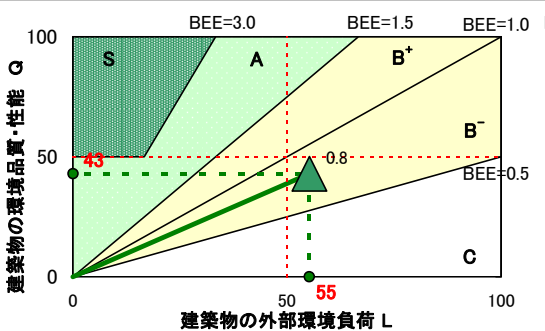
LR 建築物の環境負荷低減性 (建築物の環境負荷を低減させる性能評価)

スコア(評価点): $S_{LR} = 2.8$ ※ $SLR = 0.4 * SLR1 + 0.3 * SLR2 + 0.3 * SLR3$



②-2 建築物の環境性能効率(BEE: Building Environmental Efficiency)

BEEによる建築物のサステナビリティランギング



$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の外部環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 * (S_Q - 1)}{25 * (5 - S_{LR})} = \frac{43}{55} = 0.8$$

$Q = 25 * (S_Q - 1)$ * S_Q : Score of Q category
 $SQ = 0.4 * SQ1 + 0.3 * SQ2 + 0.3 * SQ3$
 $L = 25 * (5 - S_{LR})$ * S_{LR} : Score of LR category
 $SLR = 0.4 * SLR1 + 0.3 * SLR2 + 0.3 * SLR3$

③ 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

③-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

項目	年間延床面積あたり指標		人・時間あたり指標		年間延床面積あたり削減量		削減率 %	10	20	30	40	50%
	単位	値	単位	値	削減量	削減率						
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²		MJ/人時		MJ/年m ²							
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²		kg-CO ₂ /人時		kg-CO ₂ /年m ²							
水消費量	m ³ /年m ²		m ³ /人時		m ³ /年m ²							
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²		kg-CO ₂ /人時		kg-CO ₂ /年m ²							
LC廃棄物量	t/年m ²		t/人時		t/年m ²							
LC資源消費量	t/年m ²		t/人時		t/年m ²							

③-2 デザインプロセスの評価

配慮項目	
設計段階	
1 有資格者による設計	
建設段階	
1 環境管理計画	

備考 注1: 評価結果の表示は①~②まで
 注2: 敷地選定に関わる評価は対象外。当該敷地に建てられる標準的な建築物の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。
 注3: ③の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。